



平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
代表者名 取締役社長 大川 伸
(コード番号 3205 東証・名証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 経理財務担当 福羅 喜代志
(TEL : 03 - 3257 - 5022)

(訂正・数値データ訂正)「平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正について

当社は、平成 27 年 11 月 2 日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 28 年 2 月 12 日付「過年度の決算短信等ならびに平成 28 年 3 月期第 1 四半期・第 2 四半期決算短信および有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が複数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には____下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月2日

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド 上場取引所 東・名
 コード番号 3205 URL <http://www.daidoh-limited.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 伸
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 経理財務担当 (氏名) 福羅 喜代志 (TEL) 03-3257-5022
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,251	2.7	△916	—	△661	—	△556	—
27年3月期第2四半期	10,952	△8.9	△1,049	—	△819	—	△666	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △1,460百万円(—%) 27年3月期第2四半期 △511百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△16.56	—
27年3月期第2四半期	△19.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	44,091	21,970	49.5	648.14
27年3月期	46,383	23,771	50.9	702.36

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 21,801百万円 27年3月期 23,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	0.0	△400	—	50	△63.5	200	126.2	5.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	37,696,897株	27年3月期	37,696,897株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,060,474株	27年3月期	4,101,533株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	33,613,279株	27年3月期2Q	33,840,186株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策などの効果により、企業業績向上や雇用情勢の改善の動きなど緩やかな回復が見られました。しかしながら、中国をはじめとする海外経済の下振れへの警戒感などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

衣料品業界におきましては、景気回復の期待感はあるものの全体の消費マインドの改善は見られず、円安により輸入コストが上昇するなど厳しい状況下にあります。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に、グループ全体で経営の効率化に取り組んでまいりました。

衣料事業につきましては、株式会社ニューオーカーを中心とする小売販売は、婦人服春夏商品の販売が低調だったことなどにより、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。OEM（取引先ブランド製造卸）の受注・販売は、新規取引もあり売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

不動産賃貸事業につきましては、売上高は前年同四半期とほぼ同水準となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,251百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業損失は916百万円（前年同四半期は営業損失1,049百万円）、経常損失は661百万円（前年同四半期は経常損失819百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は556百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失666百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,292百万円減少し、44,091百万円（前連結会計年度末比4.9%減）となりました。この主な増減内容は、現金及び預金の減少、売掛金の減少、固定資産の減少、たな卸資産の増加などであり、純資産は1,800百万円減少し21,970百万円（前連結会計年度比7.6%減）となり、自己資本比率は49.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第2四半期の状況などを踏まえ、売上高24,500百万円（前回発表予想は25,000百万円）、営業損失400百万円（前回発表予想は営業利益100百万円）、経常利益50百万円（前回発表予想は650百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益200百万円（従来予想通り）と修正いたしております。

本日別途開示いたします「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、これによる損益に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,525	3,064
受取手形及び売掛金	2,492	2,287
たな卸資産	4,412	5,021
その他	1,076	1,597
貸倒引当金	△38	△37
流動資産合計	12,468	11,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,846	7,380
その他(純額)	2,450	2,413
有形固定資産合計	10,296	9,794
無形固定資産		
	872	789
投資その他の資産		
投資有価証券	19,891	18,663
その他	3,059	3,114
貸倒引当金	△205	△205
投資その他の資産合計	22,745	21,573
固定資産合計	33,914	32,157
資産合計	46,383	44,091
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	619	1,165
短期借入金	4,680	3,030
1年内返済予定の長期借入金	2,350	525
未払法人税等	1,041	779
賞与引当金	60	135
ポイント引当金	55	56
その他	3,511	3,303
流動負債合計	12,319	8,995
固定負債		
長期借入金	3,000	6,475
長期預り保証金	5,529	5,263
その他	1,762	1,386
固定負債合計	10,292	13,124
負債合計	22,612	22,120

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,589	8,565
利益剰余金	<u>8,239</u>	<u>7,329</u>
自己株式	△3,954	△3,917
株主資本合計	<u>19,766</u>	<u>18,869</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546	602
為替換算調整勘定	2,282	2,328
その他の包括利益累計額合計	<u>3,829</u>	<u>2,931</u>
新株予約権	114	115
非支配株主持分	60	54
純資産合計	<u>23,771</u>	<u>21,970</u>
負債純資産合計	<u>46,383</u>	<u>44,091</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,952	11,251
売上原価	5,671	5,918
売上総利益	5,280	5,332
販売費及び一般管理費	6,329	6,248
営業損失(△)	△1,049	△916
営業外収益		
受取利息	181	178
受取配当金	106	100
為替差益	30	14
持分法による投資利益	—	52
その他	72	55
営業外収益合計	391	401
営業外費用		
支払利息	121	99
持分法による投資損失	15	—
その他	24	46
営業外費用合計	161	146
経常損失(△)	△819	△661
特別利益		
固定資産売却益	—	90
投資有価証券売却益	563	—
その他	3	—
特別利益合計	566	90
特別損失		
固定資産除売却損	18	15
事業構造改善費用	331	—
その他	0	0
特別損失合計	350	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△603	△587
法人税、住民税及び事業税	432	292
法人税等調整額	△359	△316
法人税等合計	72	△24
四半期純損失(△)	△675	△563
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△666	△556

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△675	△563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	△944
為替換算調整勘定	△216	54
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△7
その他の包括利益合計	164	△897
四半期包括利益	△511	△1,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△496	△1,454
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(訂正前)



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月2日

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド 上場取引所 東・名
コード番号 3205 URL <http://www.daidoh-limited.com/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 伸
問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 経理財務担当 (氏名) 福羅 喜代志 (TEL) 03-3257-5022
四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,251	2.7	△916	—	△661	—	△556	—
27年3月期第2四半期	10,952	△8.9	△1,049	—	△819	—	△666	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △1,460百万円(—%) 27年3月期第2四半期 △511百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△16.56	—
27年3月期第2四半期	△19.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	44,086	22,411	50.5	661.25
27年3月期	46,379	24,212	51.8	715.48

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 22,242百万円 27年3月期 24,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	0.0	△400	—	50	△63.5	200	126.2	5.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	37,696,897株	27年3月期	37,696,897株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,060,474株	27年3月期	4,101,533株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	33,613,279株	27年3月期2Q	33,840,186株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策などの効果により、企業業績向上や雇用情勢の改善の動きなど緩やかな回復が見られました。しかしながら、中国をはじめとする海外経済の下振れへの警戒感などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

衣料品業界におきましては、景気回復の期待感はあるものの全体の消費マインドの改善は見られず、円安により輸入コストが上昇するなど厳しい状況下にあります。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に、グループ全体で経営の効率化に取り組んでまいりました。

衣料事業につきましては、株式会社ニューヨーカーを中心とする小売販売は、婦人服春夏商品の販売が低調だったことなどにより、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。OEM(取引先ブランド製造卸)の受注・販売は、新規取引もあり売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

不動産賃貸事業につきましては、売上高は前年同四半期とほぼ同水準となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,251百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業損失は916百万円(前年同四半期は営業損失1,049百万円)、経常損失は661百万円(前年同四半期は経常損失819百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は556百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失666百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,292百万円減少し、44,086百万円(前連結会計年度末比4.9%減)となりました。この主な増減内容は、現金及び預金の減少、売掛金の減少、固定資産の減少、たな卸資産の増加などであり、純資産は1,800百万円減少し22,411百万円となり、自己資本比率は50.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第2四半期の状況などを踏まえ、売上高24,500百万円(前回発表予想は25,000百万円)、営業損失400百万円(前回発表予想は営業利益100百万円)、経常利益50百万円(前回発表予想は650百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益200百万円(従来予想通り)と修正いたしております。

本日別途開示いたします「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、これによる損益に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,525	3,064
受取手形及び売掛金	2,492	2,287
たな卸資産	4,412	5,021
その他	1,072	1,593
貸倒引当金	△38	△37
流動資産合計	12,464	11,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,846	7,380
その他(純額)	2,450	2,413
有形固定資産合計	10,296	9,794
無形固定資産	872	789
投資その他の資産		
投資有価証券	19,891	18,663
その他	3,059	3,114
貸倒引当金	△205	△205
投資その他の資産合計	22,745	21,573
固定資産合計	33,914	32,157
資産合計	46,379	44,086
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	619	1,165
短期借入金	4,680	3,030
1年内返済予定の長期借入金	2,350	525
未払法人税等	596	334
賞与引当金	60	135
ポイント引当金	55	56
その他	3,511	3,303
流動負債合計	11,874	8,550
固定負債		
長期借入金	3,000	6,475
長期預り保証金	5,529	5,263
その他	1,762	1,386
固定負債合計	10,292	13,124
負債合計	22,167	21,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,589	8,565
利益剰余金	8,680	7,770
自己株式	△3,954	△3,917
株主資本合計	<u>20,207</u>	<u>19,310</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546	602
為替換算調整勘定	2,282	2,328
その他の包括利益累計額合計	<u>3,829</u>	<u>2,931</u>
新株予約権	114	115
非支配株主持分	60	54
純資産合計	<u>24,212</u>	<u>22,411</u>
負債純資産合計	<u>46,379</u>	<u>44,086</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,952	11,251
売上原価	5,671	5,918
売上総利益	5,280	5,332
販売費及び一般管理費	6,329	6,248
営業損失(△)	△1,049	△916
営業外収益		
受取利息	181	178
受取配当金	106	100
為替差益	30	14
持分法による投資利益	—	52
その他	72	55
営業外収益合計	391	401
営業外費用		
支払利息	121	99
持分法による投資損失	15	—
その他	24	46
営業外費用合計	161	146
経常損失(△)	△819	△661
特別利益		
固定資産売却益	—	90
投資有価証券売却益	563	—
その他	3	—
特別利益合計	566	90
特別損失		
固定資産除売却損	18	15
事業構造改善費用	331	—
その他	0	0
特別損失合計	350	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△603	△587
法人税、住民税及び事業税	432	292
法人税等調整額	△359	△316
法人税等合計	72	△24
四半期純損失(△)	△675	△563
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△666	△556

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△675	△563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	△944
為替換算調整勘定	△216	54
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△7
その他の包括利益合計	164	△897
四半期包括利益	△511	△1,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△496	△1,454
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。